

グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)

追加型投信／内外／債券

作成対象期間：2022年5月18日～2022年11月17日

第 294 期 決算日：2022年6月17日 第 297 期 決算日：2022年9月20日

第 295 期 決算日：2022年7月19日 第 298 期 決算日：2022年10月17日

第 296 期 決算日：2022年8月17日 第 299 期 決算日：2022年11月17日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界主要先進国の信用力の高いソブリン債券を
実質的な主要投資対象として、国際分散投資を行い、安定的な
利子収入の確保と、金利・為替見通しに基づく運用戦略により、
高水準かつ安定的なインカムゲインの確保とともに信託財産の
成長をはかることを目的として運用を行います。ここに運用状
況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運
用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第299期末 (2022年11月17日)

基準価額 4,934 円

純資産総額 298,061 百万円

第294期～第299期

騰落率 +0.9 %

分配金合計(*) 30 円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

ここに当作成期の運用状況をご報告申し上げます。

■運用のポイント

当作成期の運用で主眼に置いたポイントをご説明させていただきます。

- 米国では、物価の高騰や堅調な景気動向を背景に、米連邦準備制度理事会（F R B）が積極的な利上げを実施していることから、米ドルなど外貨の組入比率を高め維持しました。
- ユーロ圏では、物価が上昇するなか、ロシアに依存したエネルギー政策の転換など今後の経済政策には課題が多く、景気回復の遅れが懸念されることから、ユーロの組入比率をベンチマークに対して少なめとしました。
- 相対的な通貨の上昇トレンドを金融政策としているシンガポールの国債や、金利水準が相対的に高いメキシコ通貨建ての高格付け国際機関債などの組入比率を高めとしました。
- 日本では、日銀が金融緩和姿勢を維持することにより、円安傾向が継続し金利の上昇余地は限定的になると考え、円債の組み入れを少なめとする一方、保有債券の年限を長めとすることで利回り改善に努めました。
- ユーロ圏では、相対的に金利水準の高いスペイン国債の組入を多めとしています。また、金利水準が上昇してきたドイツ国債の組入れ比率を引き上げました。

■投資環境見通しと今後の運用方針

◎投資環境見通し

- 物価が上昇していることなどから F R B は政策金利の引き上げを実施しています。雇用の回復

が進むなど米国景気は堅調に推移しており、物価の上昇が続く中、利上げを継続する可能性があることなどから、米ドルは安定的に推移するとみています。

- 欧州中央銀行（E C B）は2022年7月に利上げを開始しました。インフレ率が高止まりしていることから今後も利上げを継続するとみていますが、燃料価格の上昇などにより欧州景気回復には依然時間を要するとみられることから、ユーロの上値は限定的になるとみています。

◎今後の運用方針

- 為替戦略では、円やユーロを低めに維持する一方、米ドルなどを分散して保有することで安定的な運用を目指します。
- 債券戦略では、利上げの影響を受けやすい中期債の保有比率を少なめとします。また、ユーロ圏では相対的に金利水準の高いスペインなどの債券を多く保有することで、ポートフォリオのインカム向上を目指します。



債券運用部
エグゼクティブ・ファンドマネージャー
樋口 達也

運用経過

第294期～第299期：2022年5月18日～2022年11月17日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 294 期首	4,921円
第 299 期末	4,934円
既払分配金	30円
騰 落 率	0.9%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（1.1%）を0.2%下回りました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

全ての投資対象通貨が対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国債や欧州債、英国債などの金利が上昇したことが、基準価額の下落要因となりました。

※ベンチマークは、F T S E 世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2022年5月18日～2022年11月17日

1万口当たりの費用明細

項目	第294期～第299期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	35	0.694	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(23)	(0.457)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0.209)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.006	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	35	0.700	

作成期中の平均基準価額は、4,997円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

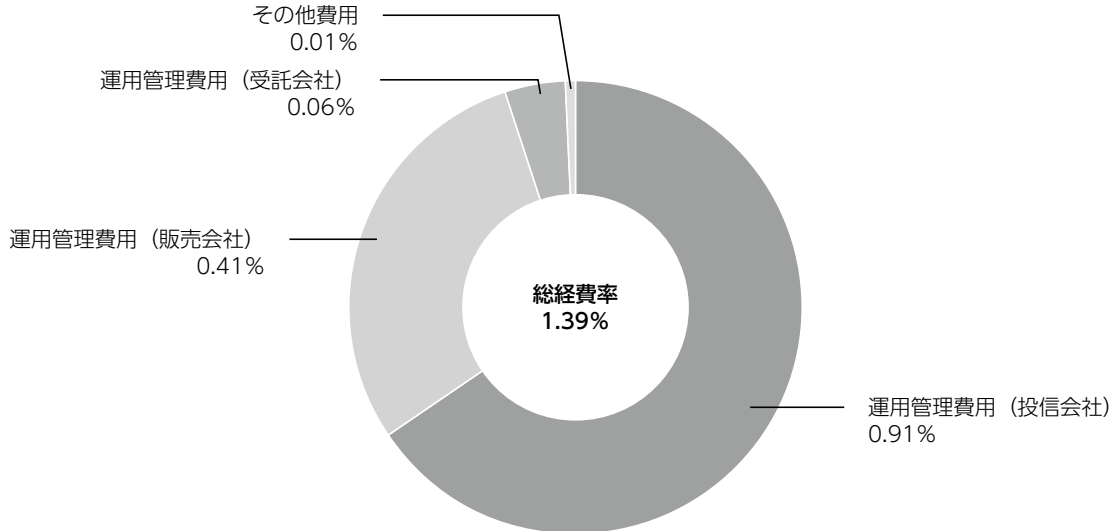
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.39%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

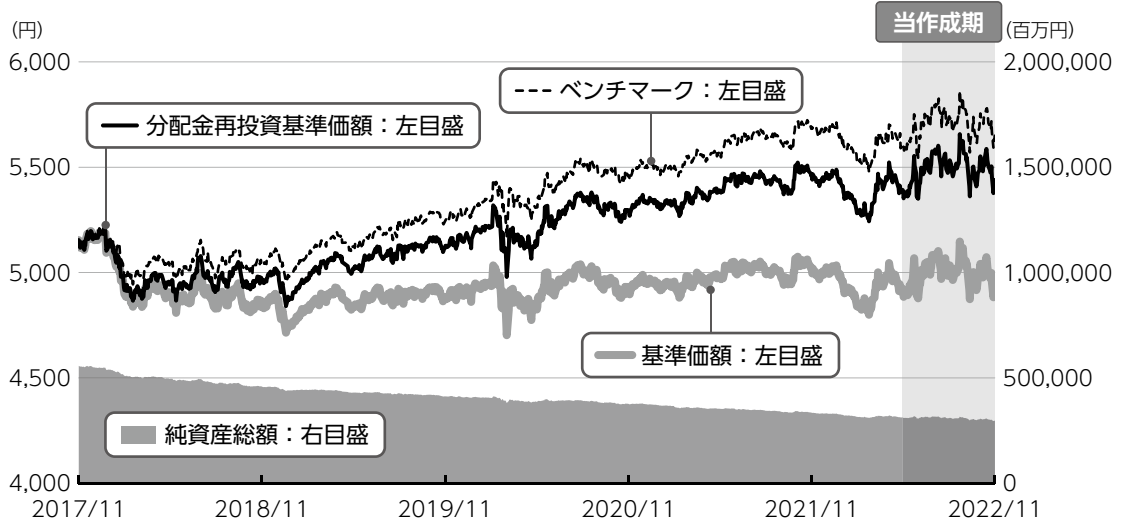
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年11月17日～2022年11月17日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2017年11月17日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2017/11/17 期初	2018/11/19 決算日	2019/11/18 決算日	2020/11/17 決算日	2021/11/17 決算日	2022/11/17 決算日
基準価額 (円)	5,154	4,835	4,882	4,920	5,020	4,934
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	120	60	60
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-3.9	3.5	3.3	3.3	-0.5
ベンチマーク騰落率 (%)	—	-2.2	4.1	4.1	4.2	-0.4
純資産総額 (百万円)	557,404	456,842	412,513	376,411	335,193	298,061

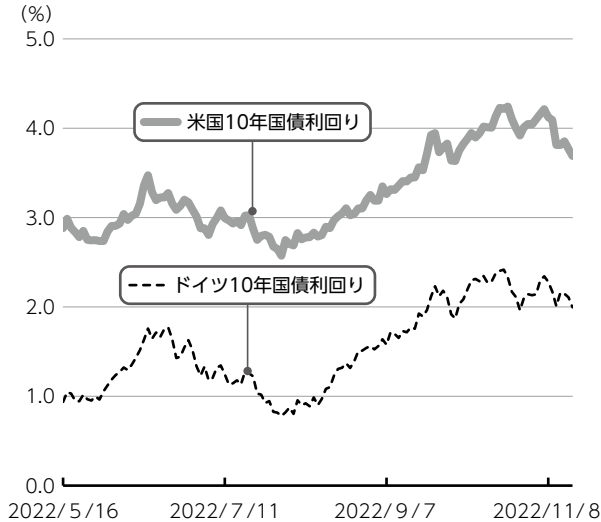
※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第294期～第299期：2022年5月18日～2022年11月17日

▶ 投資環境について

利回りの推移



(注) 現地日付ベースで記載しております。

▶ 債券市況

米国やドイツの10年国債利回りは上昇、日本は横ばいとなりました。

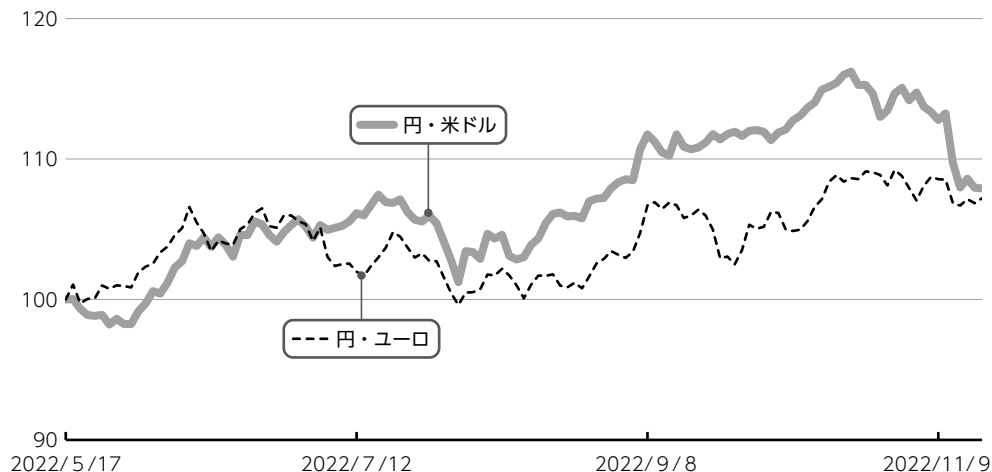
米国では、物価の上昇を背景にF R Bが利上げを実施していることなどから、米国10年国債利回りは上昇しました。

ユーロ圏では、インフレ率が高止まりしていることや、E C Bがマイナス金利政策を解除し利上げを実施していることなどから、ドイツ10年国債利回りは上昇しました。

日本では、物価は上昇しているものの、日銀が10年国債金利を低く維持する緩和的な金融政策を維持していることから、日本10年国債利回りはほぼ横ばいでした。

利回りの推移



為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）

▶ **為替市況**
米ドルやユーロは円に対して上昇しました。

米ドルは、米国景気が堅調に推移していることや、物価の上昇などを背景にF R Bが積極的な利上げを実施していることから、円に対して上昇しました。

ユーロは、エネルギー価格の上昇などによる物価の上昇に対応するためE C Bが利上げを実施していることから、円に対して上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・ソブリン・オープン （毎月決算型）

グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました。

▶ グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド

世界主要先進国の国債、政府機関債等に加えカナダ、オーストラリアなどの州政府債を主要投資対象とし、信用格付けが高い（原則としてA格以上）債券を高位に組み入れました。

通貨戦略（国別配分）

米ドルなどを分散して保有し、外貨の組入れを高く維持しました。

円やユーロを低めに維持する一方、米ド

ルなどを分散して保有することで安定的な運用に努めました。

債券戦略

利上げの影響を受けやすい中期債を少なめに保有しました。

利上げの影響を受けやすい中期債の保有比率を少なめとしました。また、ユーロ圏では相対的に金利水準の高いスペインなどの債券を多く保有することで、ポートフォリオのインカム向上に努めました。

（ご参考）

■ ポートフォリオ状況

作成期首（2022年5月17日）

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	2.47%	—
平均直利	2.12%	—
デュレーション	7.5	8.0

作成期末（2022年11月17日）

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	3.60%	—
平均直利	2.55%	—
デュレーション	7.3	7.5

- ・平均終利（複利最終利回り）とは、償還日までの利子とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り（年率）をいいます。
- ・平均直利（直接利回り）とは、利子収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する利子の割合（年率）をいいます。

用語 *デュレーションとは：

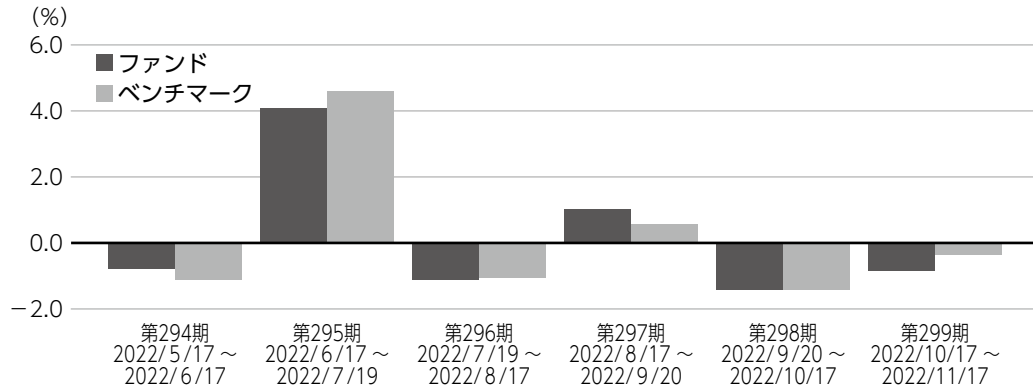
解説

金利が変動したときの債券価格の変動性を示すもので、債券に投資した場合の平均投資回収年限を表す指標でもあります。例えば、デュレーションの値が「5」の債券は、金利が1%上昇（低下）すると債券価格がおおよそ5%下落（上昇）します。（他の価格変動要因がないと仮定した場合の例です。）
 一般に、満期までの残存期間が長い債券や利率が低い債券ほど、デュレーションの値が大きく、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

第294期～第299期：2022/5/18～2022/11/17

当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

▶ グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）

基準価額は当作成期首に比べ0.9%（分配金再投資ベース）の上昇となり、ベンチマークの騰落率（1.1%）を0.2%下回りました。

マザーファンド保有以外の要因

信託報酬などの運用費用がマイナスに影響し、ベンチマークに対してアンダーパフォーマンスしました。

マザーファンド保有による要因

米ドルやメキシコペソ、シンガポールドルなどの外貨をベンチマークに対して多めとし、円を少なめに保有していたことなどがプラス要因となりました。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、利子・配当収入を中心に分配金額を決定します。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第294期 2022年5月18日～ 2022年6月17日	第295期 2022年6月18日～ 2022年7月19日	第296期 2022年7月20日～ 2022年8月17日	第297期 2022年8月18日～ 2022年9月20日	第298期 2022年9月21日～ 2022年10月17日	第299期 2022年10月18日～ 2022年11月17日
当期分配金 （対基準価額比率）	5 (0.102%)	5 (0.098%)	5 (0.100%)	5 (0.099%)	5 (0.100%)	5 (0.101%)
当期の収益	3	5	3	5	4	5
当期の収益以外	1	－	1	－	0	－
翌期繰越分配対象額	102	106	105	109	109	109

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

【分配金に関する補足説明】

当ファンドにつきましては、収益分配対象額の中から、投資している債券より得られる期中の利子収入（＝①配当等収益額（費用控除後））を中心に分配金額を決定します。このため期中の利子収入より分配金額が多い場合、その超過額は他の収益分配対象額（②～④）から支払われます。

下記記載の期間でみた場合、各計算期の①配当等収益額（費用控除後）の平均は5.8円、⑥当期分配金（税込み）の平均は5.0円となっており、当期分配金（同）に占める期中の利子収入の割合は、100.0％となっています。

当作成期の繰越分配対象額等（1万口当たり）の推移

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第294期	第295期	第296期	第297期	第298期	第299期
	2022年5月18日～ 2022年6月17日	2022年6月18日～ 2022年7月19日	2022年7月20日～ 2022年8月17日	2022年8月18日～ 2022年9月20日	2022年9月21日～ 2022年10月17日	2022年10月18日～ 2022年11月17日
当計算期の収益						
①配当等収益額 （費用控除後）	3	9	3	9	4	5
②有価証券売買等損益額 （費用控除後・繰越欠損金補填後）	－	－	－	－	－	－
当計算期の収益以外						
③収益調整金額	100	100	100	100	100	100
④分配準備積立金額	3	1	6	4	9	9
⑤収益分配対象額（＝①＋②＋③＋④）	107	111	110	114	114	114
⑥当期分配金	5	5	5	5	5	5
⑦翌期繰越分配対象額（＝⑤－⑥）	102	106	105	109	109	109

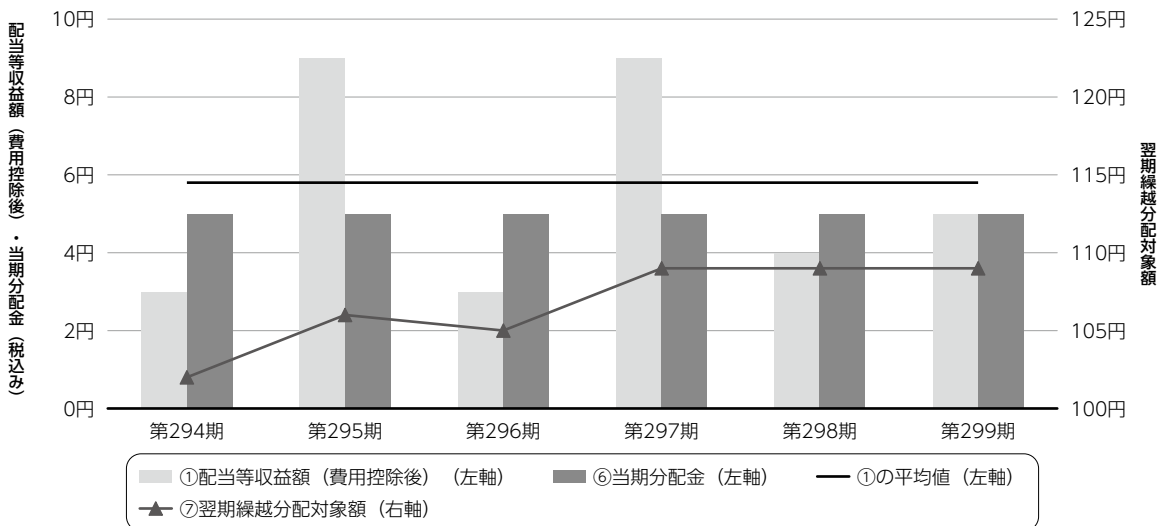
（単位：円、1万口当たり）

基準価額	4,878	5,072	5,010	5,056	4,980	4,934
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

（注）各収益（①～④）につきましては、運用報告書（全体版）「○損益の状況」の「③分配金の計算過程」で、1万口当たりに換算する前の数値を、ご覧いただくことができます。

（注）表示単位未満を切捨てているため合計額等が一致しない場合があります。

当作成期の分配金、配当等収益額（費用控除後）及び翌期繰越分配対象額（1万口当たり）の推移



今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ グローバル・ソブリン・オープン （毎月決算型）

引き続き、グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

▶ グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド

通貨戦略（国別配分）では、円やユーロを低めに維持する一方、米ドルなどを分散して保有することで安定的な運用を目指します。

債券戦略では、利上げの影響を受けやすい中期債の保有比率を少なめとします。また、ユーロ圏では相対的に金利水準の高いスペインなどの債券を多く保有することで、ポートフォリオのインカム向上を目指します。

為替市場の変動に応じ、一時的に対円で為替ヘッジを行う場合があります。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

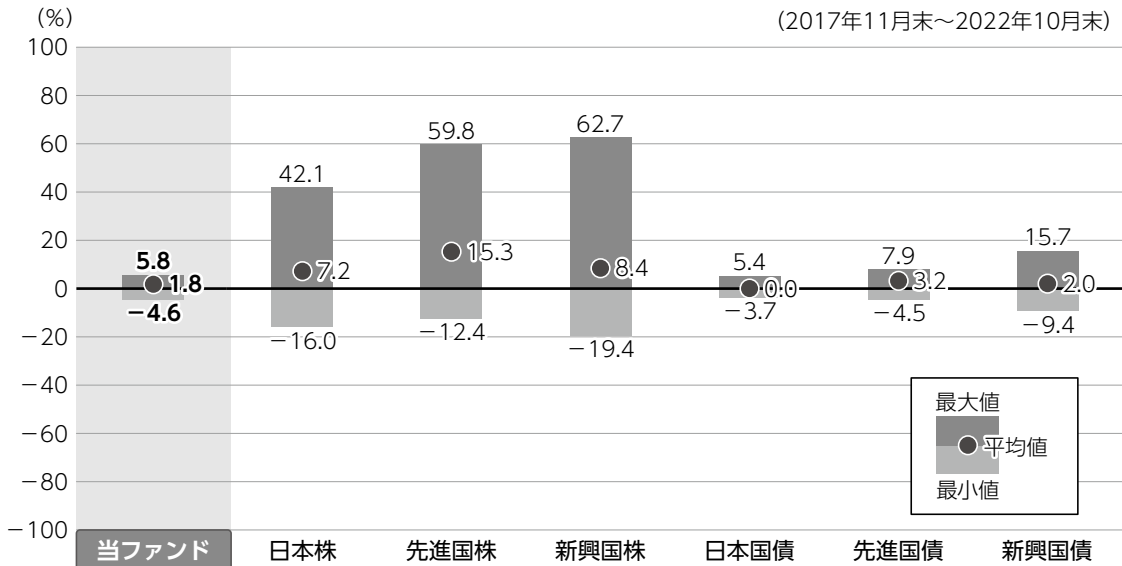
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限（1997年12月18日設定）
運用方針	ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカムゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券</p> <p>■グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド 世界主要先進国の国債、政府機関債等（A格以上のもの）</p>
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・世界主要先進国の、信用力の高いソブリン債券を主要投資対象とし、国際分散投資を行います。 ・安定的な利子収入の確保と、金利・為替見通しに基づく運用戦略により、収益の獲得を目指します。
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入を中心に分配金額を決定します。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年11月から2022年10月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年11月17日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第299期末 2022年11月17日
グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド	99.7%

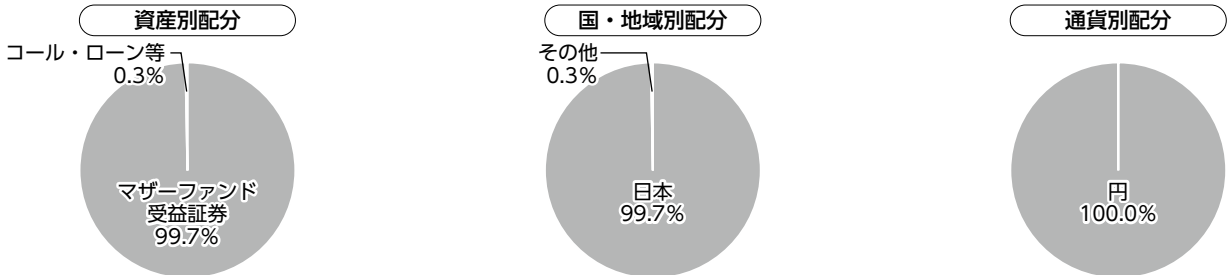
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第294期末 2022年6月17日	第295期末 2022年7月19日	第296期末 2022年8月17日	第297期末 2022年9月20日	第298期末 2022年10月17日	第299期末 2022年11月17日
純資産総額 (円)	306,529,376,768	316,200,815,771	309,534,017,709	309,478,092,915	303,080,157,602	298,061,136,423
受益権口数 (口)	628,427,842,672	623,460,077,391	617,787,532,716	612,052,560,570	608,617,027,416	604,108,272,051
1万口当たり基準価額 (円)	4,878	5,072	5,010	5,056	4,980	4,934

※当作成期間中（第294期～第299期）において追加設定元本は1,801,433,170円
同解約元本は32,180,640,909円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

154006

2022年11月17日現在

組入上位ファンドの概要

▶ グローバル・ソブリン・オープン マザーファンド

基準価額の推移

2022年5月17日～2022年11月17日



1万口当たりの費用明細

2022年5月18日～2022年11月17日

項目	第231期～第236期	
	金額(円)	比率(%)
(a)その他費用	1	0.005
(保管費用)	(1)	(0.005)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	1	0.005

作成期中の平均基準価額は、23,057円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

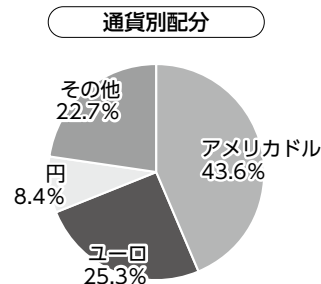
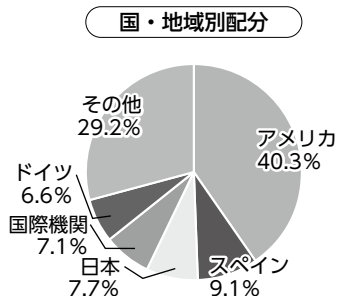
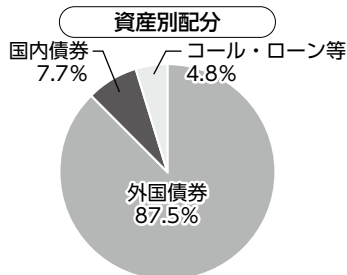
(組入銘柄数：115銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	3.625 T-BOND 440215	債券	アメリカ	国債	3.6
2	3.25 T-NOTE 240831	債券	アメリカ	国債	3.6
3	3.125 T-BOND 440815	債券	アメリカ	国債	3.3
4	3 T-NOTE 240630	債券	アメリカ	国債	3.1
5	3 SINGAPORGOVT 240901	債券	シンガポール	国債	2.5
6	第75回利付国債(30年)	債券	日本	国債	2.4
7	1.7 BUND 320815	債券	ドイツ	国債	2.2
8	1.95 SPAIN GOVT 260430	債券	スペイン	国債	2.2
9	2.25 T-NOTE 240331	債券	アメリカ	国債	2.1
10	0.75 T-NOTE 231231	債券	アメリカ	国債	2.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドのベンチマークである『FTSE世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）』について

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。